

京都シェアワセ運ぶ情報誌の 福祉

570
2018年
5月

Contents

- 平成30年度 京都府社会福祉協議会
事業計画・予算
 - 障害のある人を主役にした
新しいファッション誌が京都で創刊
- きょうとこども食堂フェスティバルを開催
夢中！熱中！ふくしびと



もてんぐさ

厳しい冬を経つ
も早めの開花で花

吹雪が舞う中、今年も多くの人の門出に立ち会うことができた▼府社協も「第4次中期計画（5か年）」の折り返しとなる新年度のスタートを切った。支援を必要とする人を制度の隙間で見逃さず、手を差し伸べることができる地域づくりを進めたい▼今、「地域共生社会」が声高にいわれるが、元来、社協は福祉に関わる人をはじめ、地域の全ての人を巻き込み、繋ぎ紡ぐ役割を担ってきた。…はずであるが、地域のコミュニティが希薄化し福祉力が低下していく中、歯がゆい思いで一生懸命の防戦で凌いできた感がある▼新年度の事業計画は中期計画に掲げる事業展開の柱に沿って、事業の充実や強化を図っており、社会情勢の動きにスピード感を持って対応できるよう、既成概念に囚われずに新しい試みにどんなに挑戦し、成果を発信して行きたい▼まだ遅くはない。創意と工夫でやれることは沢山ある。そのためには、府社協の全てのステークホルダー（関係者）と向き合い、関わりに応じて働きかけていく必要がある。例えば、改正社会福祉法の施行から1年が経過するが、府内約500の社会福祉法人のモデルとなるようなガバナンス（組織、統治機能等）を築いていくなど▼改めて社会福祉分野でのリードオフマンであることを自認し、組織基盤の強化を進めながら、今年度を府社協の真価が問われる正念場としたい。(M.Y.)

平成30年度

京都府社会福祉協議会 事業計画・予算

「第4次中期計画（平成27年度～31年度）の5つの柱にそって
平成30年度の重点事業を紹介します。」

1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- 生活困窮者をはじめとする社協の総合相談支援、地域連携の仕組みの構築協賛
- 生活福祉資金貸付制度における広報の強化、相談支援活動の充実と債権管理の強化
- 自己（意思）決定支援を重視した福祉サービス利用援助事業の推進
- 社会福祉法人との協働による「わっかプロジェクト」（京都地域福祉創生事業）の推進
- 「絆ネット」による福祉のまちづくりの推進
- 市町村社協におけるボランティアセンター機能の新たな展開への支援
- 社会的包摂をめざす福祉教育の推進（共生社会・インクルーシブ社会の実現に向けた福祉教育推進委員会の開催）
- 市町村社協における法人後見事業への取り組み支援
- 「生活困窮社会における地域づくり研究会」の運営、最終報告のとりまとめ
- 切れ目のない相談・支援体制づくりの一環として、食材の提供をおおして子ども食堂等を支援する仕組みづくり

2 社会福祉法人との連携・協働と福祉サービスの質の向上

- 社会福祉法人との協働による「わっかプロジェクト」（京都地域福祉創生事業）の推進
- 福祉サービス苦情解決事業の推進
- 介護・福祉サービス第三者評価事業の推進

3 福祉・介護人材の確保、定着、育成のための総合的な事業推進

- 福祉人材マッチング事業を中核とする福祉人材確保対策の総合的推進
- 潜在有資格者の新登録システムや貸付制度を活用した事業の推進
- 無資格者に対する事業の展開、新たな広報事業の推進
- 子ども・子育て支援新制度により要請される保育人材確保事業の推進
- キャリアパス対応型研修等の研修体系再編整備
- 地域共生社会の創造に必要な専門性を高める研修の推進
- 行政、養成校、各種団体と連携した事業の取り組みの推進

4 「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地のニーズに沿った災害支援活動」の推進

- 市町村社協災害ボランティア担当者会議の開催
- 市町村災害ボランティアセンター間のブロック別相互支援体制の構築
- 京都府災害ボランティアセンターへの参画と事務局運営
- 京都府災害時要配慮者避難支援センターへの参画
- 災害時連携NPO等ネットワークへの参画

5 幅広い協働による事業展開

- 社会福祉関係団体との連携促進
- 民生委員・児童委員活動との連携促進
- 共同募金運動への協力・協働
- 京都デザインフォーラムの開催（共催）
- 切れ目のない相談・支援体制づくりの一環として、食材の提供をおおして子ども食堂等を支援する仕組みづくり（再掲）

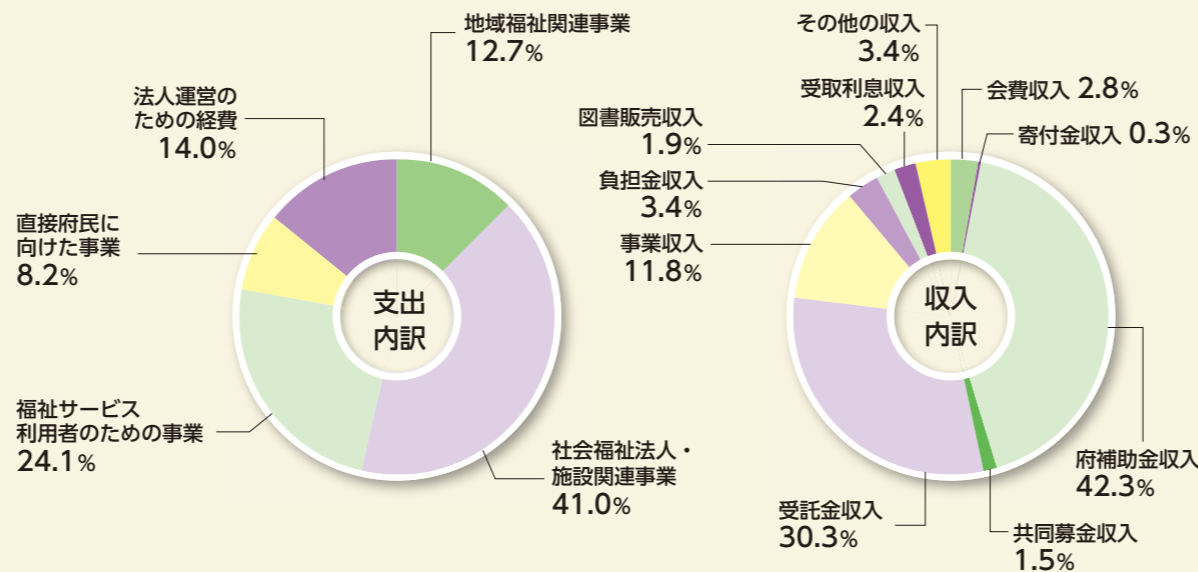
平成30年度 一般会計予算の概要

生活福祉資金会計の概要

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成30年度の貸付金、償還金の見込は下記のとおりです。

(単位：千円)

	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
貸付	701,000	610,500	90,500
償還	582,551	560,701	21,850



実質的収支のまとめ

(単位：千円)

	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減
事業活動収入	527,876	532,091	△4,215
事業活動支出	539,976	544,506	△4,530
事業活動収支差額	△12,100	△12,415	315
その他の活動収入	12,433	12,770	△337
その他の活動支出	86	72	14
その他の活動収支差額	12,347	12,698	△351
当期資金収支差額	247	283	△36

(注) 実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。

障害のある人を主役にした

新しいファッション誌が京都で創刊

2017年冬、京都で一冊のフリーペーパーが創刊されました。障害のある女性向けのファッション誌『Co-Co Life☆女子部京都版』です。コンテンツの特徴は、メイクや恋愛観、イベントレポートなどの企画を、さまざまな障害者の目線で編集されていること。また、京都ならではの地域密着情報もふんだんに盛り込み、誰が読んでも楽しめる内容になっています。誕生したきっかけやメディアとしてどんな役割を担っているのか、作り手の熱い思いを取材しました。



『Co-Co Life☆女子部京都版』
創刊ゼロ号(上)と創刊号(右)

「みんな一緒」読者に与えたインパクト

ライターや誌面に登場するモデルたちも、障害のある女性たちです。当事者目線のインタビュー記事やコラムなどは全国版と共有し、京都版はそこに地域に特化した企画を加えて独自のカラーを打ち出しています。

京都版創刊号はおもてなし隊の活動レポートや、車いすでも着脱が簡単なユニバーサル着物の試着会情報、人気観光地・岡崎のバリアフリー情報を含めたエリア紹介、メイクや恋愛観などをテーマにしたアンケートなど、盛りだくさんの内容でした。

読者の反響はとて大きく、「私も読者モデルとして出てみたい」「障害のある子どもたちの未来に希望を持った」といった声のほか、当事者以外からも「恋愛の悩みなどは私たちと一緒にだ

誰もが「日本文化を気軽に楽しむ」が発端

『Co-Co Life☆女子部京都版』を発行するのは、訪問看護や訪問介護などを行う西京区の株式会社アドナース。代表取締役で媒体の発行人を務める鎌田智広さんによれば、きっかけは社内のマナー研修の講師から、テーブルと椅子を用いて手軽に楽しめる茶道「盆略点前」を車いすユーザーに経験してもらいたいという話が出てきたことです。そして盆略点前の作法や日本の文化などを学びながら「和のおもてなし」を身に付ける「車いす和文化おもてなし隊」(以下、「おもてなし隊」)を



鎌田智広さん

も、こうした取り組みに共感したひとりです。おもてなし隊の1期メンバーに友人がいたことから、制作に携わることになりました。

23歳の時に、手足から徐々に筋肉が弱っていく「遠位型ミオパチー」を発症して車いす生活となり、「情報が全くなく、障害のある人がどうやって生きていけばよいかわからなかった」と当時の困惑を振り返ります。

中岡さんは、京都の街には、困っている人がいたら、通りすがりの人や観光客が何かと手助けしてくれる環境があるといいます。「ただし、エレベーターやトイレがどこにあるかを事前に探しておかないと、外に出にくい」と中岡さん。「私たちは孤独に陥りやすい。でも、仲間がいることを知るだけでも気持ちの面で全然違うんですよね。もっと多くの人にこの雑誌を知ってもらい、モデルやライターなどの形で紙面に参加して仲間とつながってほしいです。そして街にどんどん出ていってほしい。障害のある人を自然に見かけるようになれば、障害について理解が広がると思っています」。

次号では、京町家を改装したバリアフリーのゲストハウスの体験レポートを掲載する予定です。当事者にとっては一歩踏み出すためのきっかけにしてもらい、読者には「楽しそう」と共感できる情報を届けることをコンセプトとしています。

「今、雑誌の設置は福祉関係の公共



中岡正子さん

「こころのバリアフリー」を広げるきっかけに

次号(第3号)2018年5月発行(予定)の編集に関わる中岡正子さん

施設が中心ですが、さらに多くの場所で手に取れるようにすることが課題です。これからは美容室・カフェ・病院などにも置いていきたいです」と鎌田さん。「障害のある人のことを知らないから、みんな接し方がわからないのです。この雑誌を読んで、彼ら・彼女らも自分と一緒にだとして、とにかく話しかけてほしいですね」。

障害のある人も普通に楽しんでいることを伝えて、当事者どうしをつなぎ、当事者以外の人も接点をつくらせて「こころのバリアフリー」を広げることをめざしています。

『Co-Co Life☆女子部京都版』はファッションという切り口のなかで障害のある人が登場する形で「こころのバリアフリー」を広げようとしている。それは、昨今課題となっている、障害のある人もない人もともに支えあって生きる地域共生社会の実現のためのひとつの方法なのではないでしょうか。

『Co-Co Life☆女子部京都版』設置場所

- 京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都
- 京都社会福祉会館
- スイーツ&フード工房 [ル・クローボ京都]
- 京都市洛南身体障害者福祉会館
- 平旅籠 ひばり

『Co-Co Life☆女子部京都版』
ホームページ
<http://co-co-kyoto.com/>



車いす和文化おもてなし隊を創刊号で特集▶

熱中!
夢中!
ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを「生」の声でお届けします。

北原 侑華さん きたはら ゆか

施設名 社会福祉法人 京都身体障害者福祉センター
洛南障害者サービスセンター「あすなる」
〒601-8101

京都市南区上鳥羽高島町29

HP/URL: <http://www.normanet.ne.jp/asunaro/>

TEL.075-694-1576 FAX.075-694-1575

職種: 生活支援員 経験年数: 5年

★夢中になっている事: かわいいぬいぐるみ収集



優しい視点での支援を目指して

★仕事を始めたきっかけは？
私が障がい者福祉支援を志したきっかけは大学時代の実習経験からです。
実習先で普段自分は全く気にかけない庭先の花や草木を見て「きれいだね、花が元気に咲いているね」という言葉を聞き、日常生活では見落としがちな視点を持ってもらえ、とても純粋で優しい世界をもっとおられると思いました。そのような方たちと一緒にご一緒したら私も優しい視点を持つてるのでは、と思ったからです。
★仕事の内容とやりがいは？
普段の仕事は利用者さんをご自宅に送迎し、日中に利用者の方々に楽しく快適に過ごしていただくよう、プログラムを考え実施し、また日中生活において必要な身体介助をすることです。プログラムでは室内レクリエーション(創作活動、音楽活動、調理実習など)をはじめ、季節ごとに外出レクリエーションも行います。
やりがいは、レクリエーションなどでは皆さんの笑顔や満足そうな顔、普段と異なる一面を見れるとき。そして長い目で見ると数カ月、数年単位で利用者の皆さんが楽しみやできることを増やしているか、落ちてく場所、居場所ができていくときですね。



★プライベートの過ごし方は？
めっちゃくちゃインドアなので、休日は大体家にいます。私の癒しがぬいぐるみ(丸い形のふわふわな物)収集&鑑賞なので、かわいいぬいぐるみを探しに買い物には行きます。
★今後の目標・抱負は？
私は現在の事業所しか知らず、支援方法やプログラムなどの幅もまだまだです。今後は見識を広め、障がいについての特性に合わせた支援を行いたいと思っています。大学の実習で障がいのある方から教わった優しい視点を生かせる支援を実現できるようにしていきたいです。



子ども食堂について学んで、知って、つながる場を開催!

おとなも子どももよっといで!
きょうと子ども食堂
フェスティバル

食を通じて、地域のみんなでこどもの居場所づくりをすすめることも食堂の取り組みが、全国で広がっています。京都でも80超の子ども食堂が活動している中、「きょうと子ども食堂フェスティバル」(広がり、子ども食堂の輪! 全国ツアー in 京都)を3月10日(土)に開催(於:ひと・まち交流館京都)しました。イベントの企画・運営は、府内の子ども食堂実践者や支援者、社会福祉協議会、行政等が協働する実行委員会が行いました。

子ども食堂が増えてきていますが、会場が見つからない、運営資金やボランティアが足りない、衛生管理や保険...など、実践団体は様々な運営上の課題を抱えています。本イベントでは、子ども食堂を単なるブームで終わらせず、ずっと続けていく、ためには何が必要か、そして実践者同士の横のつながりをつくること等の思いを出発点に企画を進めました。

イベントの全体概要

オープニングは向日市立寺戸中学校吹奏楽部による2曲の演奏で幕を開けました。演目の「花は咲く」の歌詞、いつか生まれる君に私は何を残しただろう、というメッセージがイベント全体の問いかけに重なりました。

全体会では、志賀信夫実行委員長(大谷大学助教)から子ども食堂が持つ機能の整理とともに「社会問題には地域だけで対応はできない。できること、できないことこの課題整理が必要」という提起がありました。

続いてのトークセッションでは、京都府内の子ども食堂やフードバンクの実践者から、立ち上げた時の思いや活動の広がりなどが語られました。午後の分科会では「学校との連携」と「ずっと続けていくために」の二つのテーマに分かれ熱心な議論と実践交流が行われ、3000人を超える参加者の熱気に圧倒される1日となりました。



体験型のイベントとしても開催!

今回のイベントでは、子ども食堂を知ってもらうために、豚汁の無料提供や子ども食堂マルシェ、学生ボランティアによるバルーンアート、大好き献立ラッキョウなどを行い、沢山の親子が訪れ楽しむ姿がありました。豚汁提供では、府内各地から提供された食材を使って調理し、参加者に手作りごはんの美味しさや温かさを体感してもらいました。

北部での活動を広げるための企画!

また、京都府北部地域での活動を広げるため「ワンデイ地域食堂キャンペーン」と題し、子どもも大人も集える居場所づくりを呼びかける取り組みを同時に行いました。2月24日~3月25日の期間中5団体が開催(延べ大人約150人子ども70人参加)、これからの活動充実のきっかけにつながりました。

イベントを通じて得たもの

当日は、参加者同士で交流する様子があちこちで見られたほか、企画・運営に学生や実践者、フードバンク団体等の大勢の方々が関わり、みんなで創り上げたイベントとなりました。これは「何か地域のためにしたい」という思いをつなぐ場所の一つが、子ども食堂となっていることと通じるものがあります。

参加者からのアンケートには「元気をもらった」「つながりが作れた」といった声が多くあり、本会としても引き続き子ども食堂の実践を地域の居場所づくりや子ども貧困対策等の取り組みにつなげていきます。

京都府社会福祉協議会 からのお知らせ

案内

介護・福祉の仕事 相談&面接会

- 日時 5月25日(金)
15:30~17:30
- 会場 ハートピア京都1階(市営地下鉄丸太町駅5番出口からすぐ)
- 対象 福祉職場に就職を希望する学生(来年3月卒業予定)・一般の方

保育園就職フェアを開催します!

保育園で働きたい方、就職のチャンスです。ぜひご参加ください。

- 日時 6月23日(土)
12:30~16:00
- 会場 みやこめっせ3階第3展示場(市営地下鉄東山駅下車徒歩8分)
- 対象 保育園への就職を希望する学生(来年3月卒業予定)・一般の方

FUKUSHI就職フェアを開催します!

介護や福祉の仕事に関心ある方、就職のチャンスです。ぜひご参加ください。

- 日時 6月30日(土)
12:00~17:00

- 会場 メルパルク京都5・6・7階
(JR京都駅烏丸中央口から東へ約1分)
- 対象 福祉職場に就職を希望する学生(来年3月卒業予定)・一般の方

【問い合わせ先】

福祉人材課 TEL.075-252-6297

平成30年度 介護支援専門員(ケアマネジャー)実務研修受講試験のための受験対策講座

- 日時 7月28日(土)、8月11日(土)、
8月25日(土)、9月8日(土)、
9月22日(土)
10:00~16:30

- 会場 京都市内を予定
- 受講料 40,000円(5日間分)
- 指導講師 伊東利洋氏
(有)いとう総研 取締役
- テキスト ケアマネジャー試験確実合格指南書18年版

開催要綱は、6月上旬頃より市区町村役場(介護保険担当課)、ハートピア京都等で配布いたします。

【問い合わせ先】

研修課 TEL.075-252-6296
<http://www.kyoshakyo.or.jp/event/>

安心して暮らせる地域づくりのパートナー 京都府社協では、賛助会員を募集しています!

本会は社会福祉法に基づき設立された社会福祉法人です。京都府の地域福祉を推進する民間団体として「福祉で地域づくり」を合言葉に、住み慣れた地域で誰もが安心して生活できる、そんなまちづくりをめざし諸事業に取り組んでいます。ご理解の上、ぜひ本会の「賛助会員」としてご支援ください。

会費額(年額)

- 賛助会員 個人1口5,000円、法人1口10,000円で希望口数

<賛助会員の特典>

- 京都府社会福祉協議会発行の機関紙「京都の福祉」(年8回発行)をお送りします。府内の福祉の最新情報がお手元に届きます。
- 全社協出版部発行の福祉図書が割引価格で購入できます。
- 社会福祉大会など本会主催の講演会等のご案内を差し上げます。

【問い合わせ・申し込み先】

総務課 TEL.075-252-6291
FAX.075-252-6310
<http://www.kyoshakyo.or.jp/introduction/introduction4/post-2.html>

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。

平成30年度 社会福祉施設 総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	【新設】徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円
傷害見舞費用			

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
補償基本A型 1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用B型 基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

◆【30年度新設】クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763